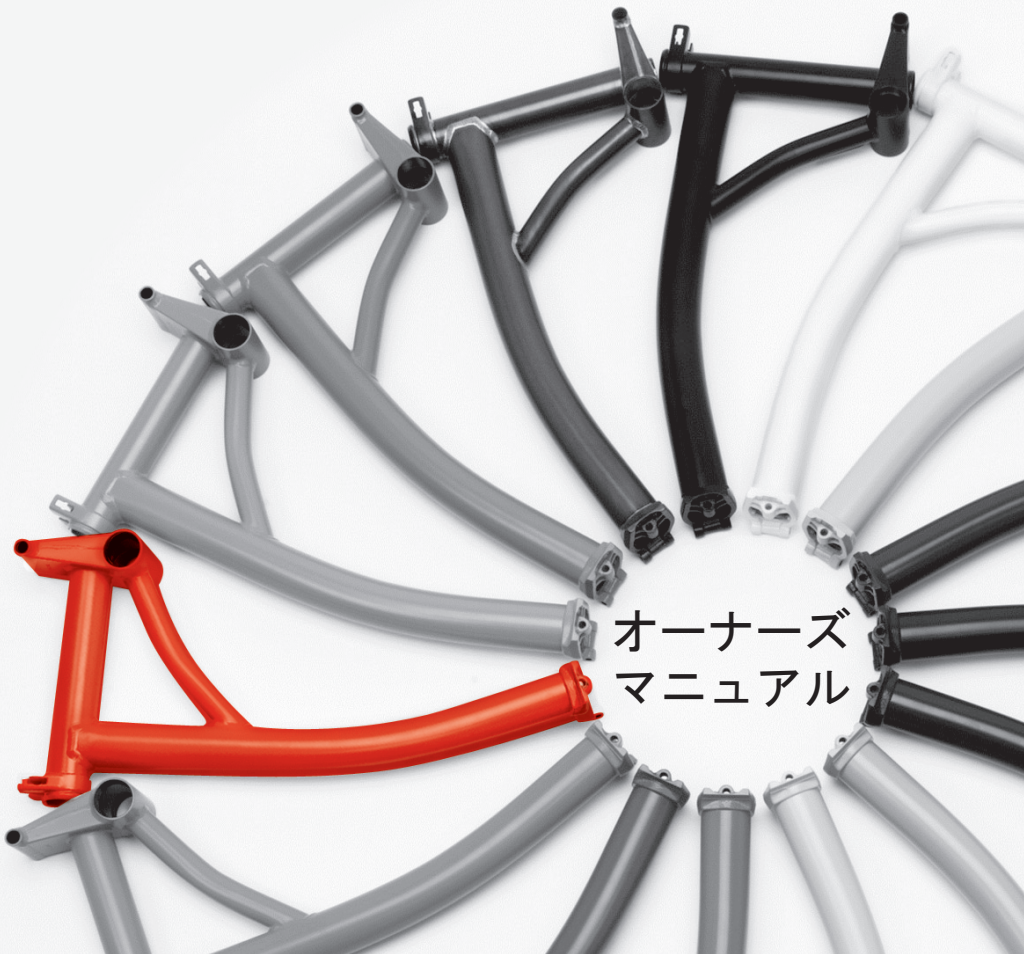




BROMPTON

EN 14764
シティ・トレッキング用自転車



オーナーズ
マニュアル

はじめに



プロンプトンをお使いいただく前に、本書の安全性および折りたたみ手順の部分を特に注意してお読みください。本書はプロンプトンをご利用いただくための手引きであり、自転車の乗り方や、メンテナンスの方法を詳しく説明するものではありません。

ご自身でプロンプトンを調整、またはメンテナンスをされる場合には、組み立てや折りたたみの手順を間違えてしまうことで正しく折りたためない、または自転車を損傷するなどの状況が考えられますので、作業をされる前に本書の関連するページを必ずお読みください。本書には、プロンプトンの使い方についてのヒントやアドバイスが掲載されていますが、もしプロンプトンのメンテナンス方法などが判らない場合には、プロンプトンディーラーにご相談ください。プロンプトンディーラーはミズタニ自転車のウェブサイト <http://www.mizutanibike.co.jp> でご確認くださいませ。

なお、本書は EN 14764 に準拠しています。

目次

安全性	2 ページ
組立てと折りたたみ	3 ページ
プロンプトンの使い方	7 ページ
快適かつ安全にご使用いただくための基本調整	10 ページ
保証	13 ページ

安全性

プロンプトンは、車道及び整備された自転車道等を走行するように設計されており、その許容総荷重は110kg以下（搭乗者および荷物を含む）となっております。

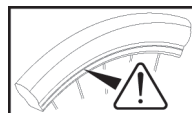
プロンプトンは、スタート走行やエクストリーム走行、自転車競技用ではありません。

ご購入いただいたプロンプトンは、その目的に合わせて正しくご使用ください。

誤った使い方をすると製品に不具合が生じ、保証修理の対象外となる場合があります。プロンプトンにチャイルドシートを取り付けしないでください。取り付けるとプロンプトンの保証が無効になります。

初めてプロンプトンをご使用になる前、また定期的の下記のことに注意を払ってください。

- ヘルメットの着用が義務付けられていない場合においても、お客様の安全確保のために自転車用ヘルメットを着用するよう心がけてください。
- 自転車をお使いになる国で適用されているすべての交通法規に従ってご使用ください。
- リム部分を常にきれいに保ち、ブレーキに損傷がないこと、およびリムが摩耗していないかご確認ください。リムが安全かどうか不安な場合にはプロンプトンディーラーで検査を受けてください。
- 定期的なブレーキ、タイヤ、ステアリングの状態をご確認ください。
- ブレーキ、およびギアを正しく調整し、ケーブル類が常に正常に機能するように保ってください。
- 雨の日は道路が滑りやすく、ブレーキが利きにくくなりますので、早めにブレーキをかけるよう心がけてください。
- 車輪の固定ボルトが正しく締め付けられているかご確認ください。（指定締め付けトルク：15Nm）
- 夜間走行をする場合には、反射性のある衣服を着用して必ずライトを点灯してください。
- Sタイプハンドルをご使用される場合、Sバッグ以外のバッグ、及びフォールディングバスケットを使用すると、ステアリング動作の妨げとなり危険ですのでお止めください。
- Pタイプハンドルのドロップハンドル部分にはブレーキレバーがありません。走行中の安全を確保できる道路以外でのドロップポジションのご利用はお控えください。



日常でご使用いただく前、またご使用された後には、下記のことを注意を払ってください

- シートポストが正しく固定されているかをご確認ください。（指定締め付けトルク：4-7Nm）またサドルの高さがご利用される方のサイズに適した高さで固定されているかをご確認ください。
- フレーム、およびステム部分のヒンジ固定金具がしっかり締められているかご確認ください。
- ご使用中にプロンプトンを組立てる、または折りたたむ際には、手や指が挟まれないよう注意してください。
- ハンドルシステムについては、お客様の安全確保のため、既定の高さを超えたハンドルの装着は絶対に行わないでください。



警告

過度の長距離走行や規定積載重量を超えた重たい物の積載、または過酷な状況などでの長時間のご利用など、想定を超えた状態で製品をご使用になった場合、製品の寿命が短くなってしまう可能性があります。未永くプロンプトンをご愛用いただくためにも、上記の説明に沿って正しくご使用ください。またプロンプトンをご使用になる前にはすべての基幹部品に損傷や腐食、亀裂などがないかを常に確認し、もし不具合が見つかった場合には乗車せずにプロンプトンディーラーにて部品の交換や調整などの対応を行ってからご使用ください。転倒や衝突などによりプロンプトンが外部から強い衝撃を受けて破損、または故障してしまった場合にはプロンプトンのご利用をただちに中止し、お近くのプロンプトンディーラーにて安全かどうかの検査を受けてください。ご不明な点がございましたらプロンプトンディーラーまでお問い合わせください。

自転車を破損した、または衝撃を受けた場合は、自転車の使用を即座に停止するか、プロンプトンディーラーで検査を受けてください。損傷した部品は乗る前に必ず交換してください。アルミ製部品に深い傷やくぼみがあると、部品の強度が弱まり、部品の破損の原因となる場合があります。

注意：安全上重要な部品には、プロンプトン純正の部品を使用してください。

組立てと折りたたみ



以下の組立て、および折りたたみ手順に従ってプロンプトンを正しくご使用ください。

組立て手順



ステップ 1

左側のペダルの内側に手を入れ、ラッチ部分（黒い板）を押しあげて本体を外側に広げてペダルを開き、カチッと音がする位置で固定します。



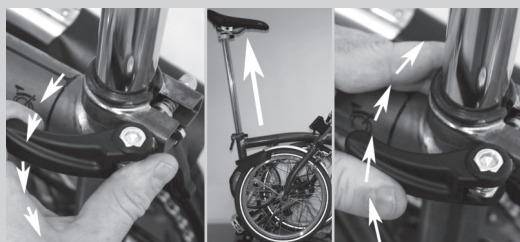
ステップ 2a

写真右のようにハンドルバーがまっすぐになるよう、矢印の方向へハンドル部分を上に押し上げます。



ステップ 2b

ハンドルステムのヒンジ固定金具をヒンジの両側をまたがるように置いて矢印の方向へしっかり締め付けます。



ステップ 3

クイックリリースレバーを矢印の方向に開き、シートポストとサドルをお好みの高さまで引き上げ、クイックリリースレバーを矢印の方向に締め付けます。



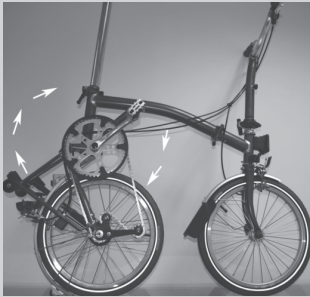
ステップ 4a

自転車の左側に立ち、サドルの右側にあるハンドルバーステム部分を写真左のように持って少し持ち上げ、前輪のフックをリアフレームから外します。そして前輪を矢印の方向に反転させて進行方向に移動させます。



ステップ 4b

メインフレームのヒンジ固定金具をヒンジの両側にかかるように置き、ヒンジ固定金具をしっかりと手で矢印の方向に締め付けます。



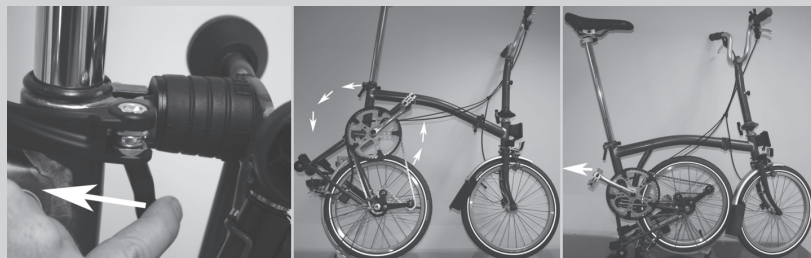
ステップ 5

サドルを持って自転車を持ち上げ、後輪部分を後方に引き出します。リア固定フックが付いている場合には（図8参照）、フックを手で解除しながら上記の動作を行います。



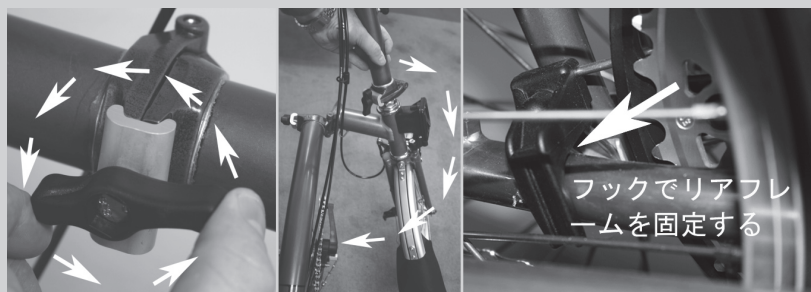
ステップ 6

これで、プロンプトンの組立てが完了し、乗車できる状態となります。



ステップ 1

リアフレームが上記の場所にロックされている場合、右写真の位置にあるレバーを矢印の前方に押し、リア固定フックを解除します。そしてサドルを持ってプロンプトンを持ち上げ、後輪を矢印の方向に回転させて写真のようにメインフレームの下に折たたみます。（中央写真参照）その際、後輪をメインフレームの下に折りたたんだときに右側のペダル（チェーン側）が矢印のように後方にくるようにしてください。（右写真参照）



ステップ 2

メインフレームのヒンジ固定金具を矢印の方向に約4回転程度緩め（左写真参照）、矢印の方向へ前輪を反転させて後輪の横に移動させます。（中央写真参照）そしてハンドルバーステムを中央の写真のように持って少し持ち上げ、前輪のフックをリアフレームにひっかけます。（右写真参照）



ステップ 3

クイックリリースレバーを矢印の方向に開き、サドルを下に押し下げ、クイックリリースレバーを矢印の方向に締め付けます。



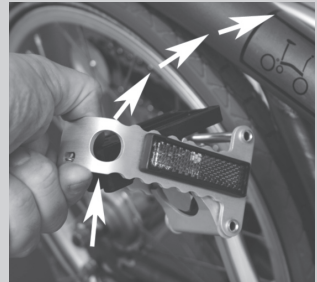
ステップ 4

ハンドルシステムのヒンジ固定金具を矢印の方向に約4回転程度緩め（左写真参照）、手でハンドルバーを押さえながらハンドル部分を矢印の方向に折りたたみ（中央写真参照）、前輪横のクリップにステムを固定します。（右写真参照）



ステップ 5

クランクを回して右側のペダルが矢印のように前輪に触れるように調節します。



ステップ 6

左側のペダルの内側に手を入れ、ラッチ部分（黒い板）を押しあげて本体を外側に広げてペダルを開き、カチッと音がする位置で固定します。

注意:

1. ブロンブトンは上記の手順で正しく折りたたむとシートポストによって折りたたんだ状態で開かないように固定されます。その際には後ろブレーキ裏に装備されているストップディスクがストッパーの役割果たし、折りたたんでサドルを持ち上げた際にリアフレームが出てこない仕組みとなっています。ストップディスクが正常に機能するためには、ブロンブトンを正しく折りたたむ必要があります。
2. ブロンブトンを持ち運ぶときは、サドルの前部分、またはメインフレームをしっかりと持ってください。
3. ペダルがリアフレームに当たり、塗装や車体を損傷しますので、左側のペダルを折りたたんだ状態でクランクを回さないでください。

ブロンプトンの使い方



1. タイヤ空気圧

タイヤ空気圧の定期的な点検は、安全で快適な走行を行うために重要です。

安全で快適な走行を行うために、以下のことをご留意ください。

- タイヤには十分に空気が入っていることが重要です。十分に空気が入っていないと、より多くの漕ぐ力が必要となるため、自転車に乗る楽しさも半減してしまいます。またそれによってタイヤの磨耗が早まるばかりか、操作性にも影響を及ぼしかねません。タイヤの空気圧は常に適切な数値を維持してください。
- 空気圧の設定は、利用者の体重や好みにより多少異なります。道路が荒れている場合には、一般的に空気圧を低めにすると快適性が増しますが、逆に路面抵抗を抑えて漕ぎやすくするためには、空気圧を高めに設定する必要があります。
- ブロンプトンには、米式バルブのチューブを採用しています。
 - 携帯用ポンプまたはガソリンスタンドにある空気入れ等がご利用できます。

下の表には、ブロンプトンに装備されているタイヤの推奨空気圧を表示しています。

	Brompton Kevlar		Schwalbe Marathon	
	最小 (psi)	最大 (psi)	最小 (psi)	最大 (psi)
前輪	65	100	65	115
後輪	65	100	65	115



2. ギア

ブロンプトンには、ディレラーシステム（左トリガー変速レバー）とハブギアシステム（右トリガー変速レバー）、2種類の異なるギア方式を採用しています。2速のディレラーシステムと3速のハブギアを組み合わせることで、合計6速のギア構成を持つモデルも存在します。

ディレラーシステムでは、ペダルを回転させながらギア変速をすると負荷がかかり難しく、変速が効果的に行えます。

逆にハブギアシステムでは、ペダルを止めた状態でギア変速をすると負荷がかかり難しく、変速が効果的に行えます。

ディレラーシステムやハブギアシステムのトリガー位置については、必要に応じて多少の調整作業が必要です。ギアの動きが悪い、また変速に問題がある場合には、ブロンプトンディーラーに調整を依頼し、ギアの損傷を防いでください。

3. ブレーキ

お客様の安全確保のため、ブレーキの定期的な点検、および調整を行ってください。ブレーキ調整の頻度は、プロンプトンの使用頻度により異なりますが、ブレーキを引いたときにブレーキレバーがハンドルバーに触れるような場合には、早急にブレーキの引きしろ調整が必要です。ブレーキパッドの取り付けは、ブレーキパッドがリムに限りなく近い位置に固定します。通常、ブレーキの引きしろ調整は、ブレーキレバーにあるケーブルアジャスターで行います。調整方法がわからない場合には、プロンプトンディーラーにご確認ください。

ブレーキ調整時の注意

- リアブレーキの引きしろ調整は、プロンプトンを組み立てた状態で行ってください。
- フロントブレーキの引きしろは、車輪を回転させたときにリムに触れてしまうほど近くには設定しないでください。
- ブレーキパッドの表面にある溝の深さが1mm以下になったら、すぐにブレーキパッドを交換してください。

4. ライト

プロンプトンには、フロントおよびリアの電池式と、走行中に発電するハブダイナモ式の2種類のランプがあります。これらのランプはプロンプトンのどのモデルにも搭載できます。

電池式ランプおよびハブダイナモの操作方法については、プロンプトンディーラーにご確認ください。

5. リア固定フックとプロンプトンの駐輪について

リア固定フックとサスペンションブロックを使うと、リアフレームの「ロック」と「ロック解除」が行えます。



「ロック」位置にあるとき、自転車を持ち上げると、リアフレームはメインフレームに固定された状態になります。

注意:2つのノッチがロック位置で上向きになります。



「ロック解除」位置にすると、自転車を持ち上げたときに、リアフレームがメインフレームに固定されません。

注意:フックのリセスは、ロック解除位置で上向きになります。



「ロックモード」と「ロック解除モード」位置の切り替えは、サスペンションブロック自体を手で回して行います。

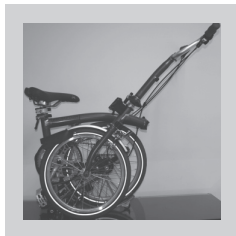
注意:この作業は、リアフレームのロックを必ず解除した状態で行ってください。



6. 折りたたみ自転車の持ち運び

標準装備されている小さなローラーは、プロンプトンを折りたたんだ状態で移動する際にとても便利です。またハンドルバー部分を写真のように立てた状態にすると、付属のローラーでプロンプトンを転がして移動させることができます。ただし、本機能は平らな場所を短い距離で移動させる場合のみご利用ください。

オプションのイーザーホイールを装着すると、さらに楽にプロンプトンを転がして移動することができるようになります。シートポストを収納位置より少し上げて固定することによって、プロンプトンを手で引いて移動する際、転がす動作の邪魔にならないようにすることが可能です。ただし、あまり高く上げすぎると、プロンプトンを折りたたんだ状態に保つことが出来なくなってしまうのでご注意ください。



注意:

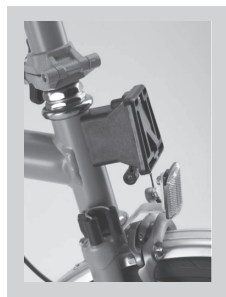
- ・ サドルを高くしてハンドル部分の代わりに使用してプロンプトンを移動させないでください。折りたたんだ状態の自転車はシートポストに固定されていないため、折りたたんだ状態が保てなくなります。
- ・ プロンプトンにイーザーホイールを装着される場合には、折りたたんで置いておく際に不意に転がってしまうことの無いよう、移動させないときにはシートポストを収納位置までしっかりと下げ、別売りのシートエンドキャップを装着し、ストッパーとして利用することで転がりを防止してください。

7. バッグ

プロンプトンでは、プロンプトンに最適なバッグを多数ご用意しております。プロンプトンには、フロントには最大 10kg、リアラックには最大 10kg の荷物を積載することが可能です。

注意:

- ・ プロンプトンの全てのフロントバッグはMタイプ、およびPタイプモデルに装着することができますが、走行上の安全確保のため、Sタイプモデルにはバッグ以外のバッグを使用することは出来ません。
- ・ バッグを装着するには、メインフレームに別売りのフロント・アダプター・ブロックを装着する必要があります。
- ・ Sタイプモデルをご使用される場合、Sバッグ以外のバッグ、及びフォールディングバスケットを使用すると、ステアリング動作の妨げとなり危険ですのでおやめください。



8. 注油

他の機械などと同様に、プロンプトンを安全かつ効率よくご使用いただくためには可動部分への定期的な注油が必要です。部位や使用頻度により頻度は異なりますが、少なくとも年に1回は行ってください。使用している部品によってはより頻繁に注油が必要な場合があります。

- チェーン： ペダリングをスムーズに行うため、チェーンには十分な注油が必要です。ペダルを逆向きに回転させながら注油を行い、油がローラーとサイドプレートに浸透するようにし、油を浸透させてから余分な油をウェスなどで拭き取ります。
- ヒンジ固定金具： ボルトのねじ山とワッシャには時折グリスを塗ってください。プレートの内側に薄くグリスを塗っておくと、ヒンジプレートがスムーズにフレームから離れます。
- 折りたたみ式ペダル： グリスが封入されているので、メインベアリングには注油をしないでください。ただし、ベアリングの動きが悪くなってきた場合には、注油を行うことで使用年数が多少長くなります。
- ハブギア： ギアとベアリングは密閉されているため、自転車技師による保守サービスの時以外に注油は必要ありません。

プロンプトンに注油するときは、シートポストまたはリムに油またはグリスが付かないようにご注意ください。シートポストにグリスが付着するとスムーズなサドルの上げ下げが出来ません。

通常、ヒンジへの注油に使用するのは市販の良質汎用グリスで十分です。またチェーンへの注油には浸潤性の高いチェーン用潤滑油が効果的です。

快適かつ安全にご使用いただくための基本調整

1. サドルの調整

サドルの調整は、走行する際の快適性を高めるための重要な要素です。サドルの高さや前後位置、角度には個人の好みがあるため、1つの方法であらゆる人を満足させることはできません。ただし、ある程度の部分まで調整することで、快適な位置をより見つけやすくすることができます。サドルの調整がうまくいかない場合には、プロンプトンディーラーにてお客様に適したサドルの位置に調整してもらってください。



高さの調整

正しいサドルの高さは、ペダルにかかとを乗せ、クランクアームをシートポストと平行にした状態でサドルに座って確認します。かかとがペダルの中心に乗って写真右のようにまっすぐにならない場合には、サドルを高くします。たとえば、写真左のようにひざが曲がってしまう場合にはサドルが低すぎます。

位置を決め、ペダルに足を乗せて普通に走行してペダルが一番下の位置に来たときにひざが少し曲がるくらいの状態がペダリングに適した位置です。



前後位置の調整

サドルは、前後方向に動かしてよりご自身に適した位置に調整することができます。写真左のように前方に移動させると、サドルがハンドルバーに近づきます。また写真右のようにサドルを後方に動かすとハンドルバーまでの距離が遠くなります。締め付けを行う際には必ずボルトを正しいトルク(17Nm)で締め付けてからご乗車ください。



角度の調整

ほとんどの人はサドルを平行にしますが、写真左側のようにサドルの先を少し上げた状態、またはサドルの先端を写真右のように下げた状態を好む人もいます。締め付けを行う際には必ずボルトを正しいトルク(17Nm)で締め付けてからご乗車ください。

サドルの上限位置と下限位置

- シートポストをストッパー位置まで引き上げた状態が最もサドルが高い位置（上限位置）、逆にシートポストがメインフレームの下から出ない位置が最もサドルが低い位置（下限位置）です。



2. 高さの追加

サドルの位置を調整しても十分な高さが得られない場合には、ブロンプトンが提供する テレスコピックシートピラーと60mmロングシートピラーの2種類のオプションシートポストを使用することでサドル位置を更に高くすることができます。

ご注意：折りたたみサイズは標準仕様と比べ若干高くなります。

3. ハンドルバーとコントロールレバーの位置

ブロンプトンのハンドルバーとコントロールレバー類（ブレーキレバー及びシフトレバー）の位置は、折りたたみ機能と走行の快適性の両方を提供するため、出荷時にあらかじめ適正な位置に設定されています。そのため、極度にそれらの取り付け位置を変更すると、折りたたんだハンドルバーまたはステムを本来のように前輪に近づけて折りたたみためなくなり、折りたたみサイズが大きくなってしまいます。もしハンドルバー位置を調整したい場合には、ブロンプトンディーラーで調整を依頼されることをお勧めします。締め付けを行う際には必ずトルクを正しいトルク(18Nm)で締め付けてからご乗車ください。

4. 消耗部品の定期交換

安全性の高い優れた性能を維持するためには、消耗品部品の定期的な交換をお勧めします。

日常ブロンプトンをご使用される場合の部品交換の間隔や最適なタイミングにつきましては、その使用頻度や乗り方により異なります。お客様の安全確保のため、安全上重要な部品の交換につきまして、ブロンプトン純正の交換部品をご使用ください。

- アルミ部品:** その他の軽量車と同様に、Brompton の構成部品にもアルミニウム合金が使われています。この材料は、破損する前にデザイン上の有効年数があります。通常の用途において、アルミニウム疲労破損の危険性は、数千マイル走行したとしても、ほとんどありません。ただし、過酷な乗り方や大量の積載などにより、使用による破損の危険性が増します。部品が破損すると、怪我の要因となるため、ヒンジ固定金具、ハンドルバー、チェーンセット、シートピラー、ペダルは、5000マイル（約8000Km）走行ごとに（過酷な使用をする場合はより頻繁に）交換してください。また、これらの部品は、定期的に点検することをお勧めします。
- ギア、チェーンテンショナー:** すべてのブロンプトンには、チェーンの張りを維持するためのチェーンテンショナーが装備されています。ご使用とともにチェーンやスプロケットは徐々に磨耗し消耗していきませんが、この状態が一般的にいう「チェーンの伸び」という状態です。チェーンが伸びると、歯車にかかったチェーンがずれるなどしてペダルの力が十分に伝わらなくなります。目安として、チェーンとスプロケットはおよそ3200～4800Km走行ごとに交換してください。また、定期的にチェーン、およびスプロケットの掃除および注油を行うことで、チェーンやスプロケットの耐久年数を延ばすことにつながります。

注意：勘合の不具合による動作不良を避けるためにも、新しいチェーンと古いスプロケット、またはその逆の組み合わせで使用しないでください。チェーンの伸びを調べる場合には、市販されている専用の測定ツールをご利用ください。

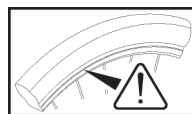
- ブレーキケーブル:** ブレーキケーブルには有効年数はありませんが、不意の損傷を避けるためにも、およそ6400Km走行ごとにケーブルを交換してください。アウターケーブルの長さは折りたたみ機能を正常に保つため、元の長さと完全に同じにする必要があります。最も簡単に確実な交換方法は、ブロンプトンディーラーに装着を依頼し、ブロンプトン純正の指定ケーブルをご使用いただくことです。

注意：正しくない長さのケーブルを使用すると、ステアリング動作に影響を及ぼすなど、安全性と走行性能に悪影響を及ぼしかねませんので絶対におやめください。

- ギアケーブルは、**ブレーキケーブルと同等の間隔で交換してください。ブロンプトンに使用されているギアケーブルはブロンプトン専用品ですので、指定のブロンプトン純正ケーブルをお使いください。ケーブルの装着はブロンプトンディーラーにご依頼ください。

注意：正しくない長さのケーブルを使用すると、ステアリング動作に影響を及ぼすなど、安全性と走行性能に悪影響を及ぼしかねませんので絶対におやめください。

- **ブレーキパッド**: 新品のブレーキパッドには、リムへの当り面に溝があります。溝の深さが1mm以下または溝が見えないところまで消耗してしまった場合にはパッドを新しいものに交換してください。ブレーキパッドは、ブレーキが正常で安全に機能するためにとっても重要な部品ですので、取り付けはブロンプトンディーラーにご依頼ください。
- **タイヤ**: 日々のご使用と共にタイヤは消耗していきます。タイヤの溝がなくなるなど、タイヤが磨耗してしまったらすぐにタイヤを新しいものと交換してください。交換することで、パンクやスリップなどの危険性が大幅に減り、走行性能も格段に高まります。
- **ダイナモライト**: ダイナモライトの電気ケーブルは、ブロンプトンの組立ておよび折りたたみ動作で磨耗します。ケーブルに不具合がある場合にはすぐにケーブルを交換してダイナモハブ自体の損傷を防止してください。ライトに不具合がある場合にはブロンプトンディーラーに点検を依頼し、安全に走行できる状態を維持するようにしてください。
- **サスペンションブロックとブッシュ**: ブッシュとサスペンションブロックは年に1回磨耗点検を行ってください。サスペンションブロックに亀裂がある場合は、すぐにサスペンションブロックを交換してください。
- **車輪リム**: リムのブレーキ面は磨耗します。リムが磨耗すると、左右いずれかのブレーキ当たり面に印が現れます。この段階になったらリムを交換してください。



1か月保守

ブロンプトンに使われている部品には、なじむまでに多少の時間がかかるものがあります。そのため、購入した直後に点検を行うことで、それらの部品を損傷しないようにする必要があります。ブロンプトンを販売するディーラーでは、初期点検を行ったうえでブロンプトンをお客様にお渡ししていますが、お客様の安全確保のためにも、1ヶ月保守点検は必ず購入後1ヶ月以内に行ってください。この点検では、特に以下の部品を確認します。

- | | |
|--------------|--|
| スポーク | スポークの張りを確認し、適切な状態に調整します。何らかの理由でスポークがゆるむと、隣接するスポークに負荷がかかり、スポークを損傷する場合があります。危険です。 |
| クランク軸ボルトとペダル | 緩んできていないかを確認し、緩みがみられた場合には、規定締め付けトルクである30Nmで締め付けます。左側ペダルの取り付けボルトは締め付ける方向が逆(逆ねじ)になっていますので十分にご注意ください。 |
| ブレーキ、シフトケーブル | ケーブル類には、走行すると多少の伸びが出てきます。ある程度走行して伸びが出たらケーブルの張りを調整してください。 |

保証



ご購入いただいた自転車に製造上の欠陥がある場合、その自転車の最初の購入日から、（フレームの場合は）5年、または（その他の部品の場合は）2年以内に報告を受けた場合に限り、不具合部品を無償で交換します。Brompton は、車道およびよく整備された小道を走行するよう設計されています。オフロード用ではありません。オフロードで走行すると、フレームに過負荷がかかります。また、タイヤおよびホイールはオフロードに適していません。

My Brompton (マイブロンプトン)

Brompton ウェブサイトの「マイブロンプトン」は、オーナーさまが購入した自転車の詳細を登録することで、必要な場合に連絡を受けることができるようにするものです。新規および既存に関わらず、すべてのオーナーさまの登録をお願いします。ご登録いただいた情報は、Brompton のデータベースに保管され、その他の機関に伝わることはありません。(www.brompton.co.uk)

シリアル番号(製造番号)とフレーム番号

メインフレームのシートポストの背面に貼られているラベルには 10桁のシリアル番号（製造番号）が記載されています。6桁のフレーム番号は、メインフレーム（リアサスペンションピボットの前部分）に刻印されています。これらの番号は、書き留めてください。下の欄に番号をご記入ください。

製造番号:

10桁番号

フレーム番号:

6桁番号

購入日:

dd / mm / yyyy

BROMPTON BICYCLE LTD

Kew Bridge DC, Lionel Road,

Brentford, Middlesex, TW8 9QR

www.brompton.co.uk

© Brompton Bicycle Ltd November 2012